

フライ油リサイクルシステム

plenus

2010年1月19日
株式会社プレナス

代表者	代表取締役社長 塩井辰男
本社	福岡市博多区
店舗数	2,556店舗(ほっともっと2,395店舗、やよい軒161店舗) 11月末現在
事業内容	ほっともっと・フランチャイズ業
	やよい軒・フランチャイズ業
創業	昭和35年3月
設立	昭和51年11月
資本金	34億61百万円
従業員数	社員1,170名、パートタイマー5,411名(1日8時間換算)
主要取引先	ニチレイ、日本ハム、中央化学、丸紅、日本水産ほか
上場	東京証券取引所第一部
売上高	1,183億8百万円(平成21年2月期)



持ち帰り弁当チェーン
「ほっともっとな」
2,395店舗
37都道府県で展開中
福岡県内に329店舗



定食チェーン
「やよい軒」
161店舗
九州・関東・関西を
中心に展開中
福岡県内に18店舗



plenus フライ油リサイクルシステム



①使用済みフライ油の回収



お店で手づくり、できたてを提供

使用済みフライ油の発生

産業廃棄物→燃料の原料として回収



② バイオディーゼル燃料を製造

専用車で使用済みのフライ油を回収

異物や水分を除去し、製造プラントへ

同じ品質の使用済みフライ油から
品質・量ともに安定した
バイオディーゼル燃料を製造



③ 配送車に給油

所在地	福岡県朝倉市
敷地面積	265.32㎡
建物面積	46.31㎡
タンクの容量	9,600リットル (約3日分)
特長	物流センターに併設。最も効率の良い給油所



プレナスステーション

④ 食材等を店舗に配送



店舗配送用のトラックに
バイオディーゼル燃料を給油



物流センターにて食材等を積み込み



かつては、フライ油だった
バイオディーゼル燃料で
新たな食材等を店舗に配送



plenus ロゴマーク



「フライ油リサイクルシステム」導入に当たって、ロゴマークを制作しました。自然環境を意識させる「雲」をモチーフにecoの文字を車の車輪のように組み入れました。全体が一筆のように見えることでリサイクルの循環もイメージしています。

plenus システム導入の目的

平成19年10月

九州・山口地区で本格稼働開始

- 当社が運営する店舗から出た使用済みのフライ油をリサイクルし、資源循環型社会の一端を自社内で担うことができる。
- チェーン店という特性を生かし、同じ品質の使用済みフライ油から品質、量ともに安定したバイオディーゼル燃料を製造できる。
- バイオディーゼル燃料のCO₂の排出量はゼロカウントとされているため（カーボンニュートラル）、地球温暖化防止に繋がる。
- 廃食用油をバイオディーゼル燃料化することで、限られた地球資源の使用量を削減できる。

地球環境に配慮・貢献し、
企業としての社会的責任を果たしていきたい

plenus システム導入の効果

年間使用済みフライ油	約100万リットル
バイオディーゼル燃料年間製造量	約85万リットル
導入車両数	52台（内店舗配送車43台）
削減できるCO ₂ 量	約2,200トン

<参考>

全店舗システム導入の効果

年間使用済みフライ油	約236万リットル
バイオディーゼル燃料年間製造量	約200万リットル
削減できるCO ₂ 量	約5,240トン

※数値は全て年間の想定量

※九州・山口地区は離島・沖縄県を除く

フライ油リサイクルシステム

plenus